

2021年6月24日

日本製鉄株式会社

塗装周期延長耐食鋼「CORSPACE®」採用累計 10,000 トン達成 ～新技術情報提供システム（NETIS）の「VR」認定取得により更なる適用拡大へ～

日本製鉄株式会社（以下、日本製鉄）が開発した、塗装周期延長鋼「CORSPACE®」（以下、コルススペース）は、沖縄県など塩害の厳しい環境、融雪剤散布を行う東北・北陸などの積雪地帯、さらには将来的な塗装塗替え足場の設置困難となるような道路・鉄道跨線橋などを中心に、これまで約50橋に採用され、採用累計10,000トンを達成しました。

コルススペースは、鋼材に微量のスズ（Sn）を添加したもので、同じ塗装条件・使用環境下で塗膜欠陥部における鋼材腐食量や塗膜剥離面積が、従来鋼に比べ大幅に抑制され、塗装の塗り替え周期を延長することが可能でライフサイクルコスト低減を実現する厚板製品です。

コルススペースは、2016年2月に国土交通省の新技術情報提供システム（以下、NETIS）に登録されて以降の採用実績や技術有用性などが評価され、NETISにて、有効な活用効果を継続調査する技術「VR」認定を取得し、NETIS登録期間が5年延長されています（2021年1月20日付け、登録番号：KK-150050-VR）。



写真 CORSPACE 適用橋梁一例：国道2号淀川大橋（床版取替他工事後写真）／発注者：国土交通省 近畿地方整備局殿

現在、国、自治体が進める「防災・減災、国土強靱化」施策が本格化し、インフラや建築物などの老朽化対策のニーズが高まっています。日本製鉄は、今後もコルススペースの適用拡大に取り組み、鋼構造物インフラの寿命延長やライフサイクルコスト削減、塗装周期延長による環境負荷低減に貢献していきます。

Make Our Earth Green



日本製鉄は、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)にも合致した活動(「産業と技術革新の基盤をつくろう」「住み続けられるまちづくりを」)を通じて、これからも社会の発展に貢献していきます。

以上

お問い合わせ先：総務部広報センター 03-6867-3419

Make Our Earth Green

